

# 2024年度 メリー★ポピンズ 和光ルーム 事業計画書

## 1. 基本方針

法人の基本方針に基づき

「にんげん力、育てます」

その為に必要な経験、学び、活動を提案し実現を目指す。子どもを真ん中に保育者、地域の方と関わり、関係を築きながら「共に育つ」コミュニティづくりを進めていく

【子どもの育ちを見届ける】

- ・子どもの発達を理解し、個々を知り必要に応じた丁寧な保育を実践する
- ・一人ひとりの思いを探り、受け止めていきながら子どもが経験を重ねることを見守る
- ・子どもの育ちを信じる

【人とつながる】

心動く経験を重ねる。その中で感じた思いや伝えたい気持ちをしっかり受け止めてもらうことを喜びと感ずる。その幸福感を子どもが重ねていくことで人と関わる力を育む

【共に育つ】

- ・地域交流の場を設け、地域に向けた情報を発信し、利用しやすい環境にしていく
- ・保育者も共に学び続け発信することで子どもたち、保護者、地域の方と共に育つ

### 〈1〉 保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	日々の体験を大切にし、心身ともに充実した一日を過ごす
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9時に散歩へ出発し、たくさんの体験や経験を積み重ねていく。</li> <li>・さくらさくらんぼリズム、雑巾がけの日課を行う。</li> <li>・中庭のプランター、近隣園の畑での作物計画を綿密に立て、土づくり、種まき、水やり、収穫、食の循環の経験を充実させる。</li> </ul>
2	計画・ねらい	子どもの姿、発達の見通しをとらえた保育計画
	実践予定内容	月齢、年齢にとらわれすぎず、一人ひとりの発達を確認しながら、今必要な経験、課題を見据えた計画を立てていく。
3	計画・ねらい	必要に応じた丁寧な保育
	実践予定内容	子どもの育ちを理解し、見極めながら必要以上に手や声をかけすぎずに丁寧に育ちを見守る。

### 〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	心のこもった保護者対応
	実践予定内容	・日々顔を合わせる保育者として、保護者との信頼関係を築き、子どもたちの成長を共に喜び、共に悩みながらサポートしていく。
2	計画・ねらい	子どもたちの成長の共有を図る
	実践予定内容	・日頃の取り組みから見られる成長をドキュメンテーションなどにして共有していく。

### 〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	地域とつながる
	実践予定内容	芸術学校、自然食堂、寺親屋を開催し、地域の方が、気軽に保育園に足を運んでもらうことのできる場を作り、Webやチラシ等で周知する。その中で、地域の方の声を聞き、仲間探し、子育ての悩み、遊びの場となるように努める。 地域に向けた新聞を作成し子育てのヒントや行事の習わしなど地域の方に向けて情報の発信をすることをきっかけに開かれた保育園となる。
2	計画・ねらい	居心地の良い空間づくり
	実践予定内容	地域の子育ての場の一つとなるように明るく、衛生的な空間を保つ。専門知識を持った保育者や子育て経験のある保育者等が対応していくことで安心して話ができる場となるように努める。

### 〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	子どもに尊厳をもって接する
	実践予定内容	子どもの権利条約等の基本を再認識する。そこから日常の保育での関わりや保育者である前に大人としての振る舞いを振り返り、尊厳を持つという意味を理解し実行する。
2	計画・ねらい	子どもの発達から活動計画や環境を整える力をつける
	実践予定内容	子どもたちにとって望ましい環境を発達、子どもの興味関心から捉え、室内環境や園外保育での計画に反映させ、実践し続けていく。
3	計画・ねらい	コミュニケーション力の強化
	実践予定内容	保育の中での意思疎通、意見交換を含め発信し、それを理解し、分かりあう、刺激しあう、学びあうことのできる関係性を構築する。会議では必ず意見を言う

### 〈5〉 環境実施目標

1	計画・ねらい	食の循環、食材に触れ興味をもつ
	実践予定内容	日々食べる野菜、食材に触れ、興味をもち、下処理等を通して食に興味を持つ。 野菜の廃棄部分で水彩栽培や再生栽培を行う。
2	計画・ねらい	環境への意識を身につける
	実践予定内容	SDGsを知り、自分たちのできることを探し実行する。 食の循環や自分たちが使うトイレトペーパーや水がどこからきてどのくらいあるかを知り、物を大切にする。
3	計画・ねらい	畑活動を五感で体験する
	実践予定内容	野菜を作ることはもちろん、土づくり、泥遊びを通して免疫を獲得し、健康で安全に過ごすための体の使い方を覚えていく。

### 〈6〉本物に触れる（施設長が力を入れて取り組みたい内容）

1	計画・ねらい	日本古来の伝統行事を知る
	実践予定内容	季節を感じ、それぞれの行事の習わしを伝え、経験となるようにする。（豆まき、ひな人形、お花見、祭り、もちつき見学と杵や臼に触れるなど）
2	計画・ねらい	季節を知る
	実践予定内容	季節の空気、花、草木、生き物、雪、霜柱などその時、季節ではないと経験できない、見ることができないものを五感で感じる。
3	計画・ねらい	食に触れる
	実践予定内容	畑での活動、食育活動を大切にする。土のぬくもり、心地よさ、生きている野菜、切り身ではない魚など食育活動等で触れる。

## 2. 施設運営

### 〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6人	6人	7人	0人	0人	0人	19人

### 〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

### 〈3〉スタッフ構成 (3月1日時点)

常勤 スタッフ	保育士	5人	看護師	0人	栄養士	1人	調理員等	0人
パート スタッフ	保育士	2人	補助	2人	調理	0人	事務	0人

## 3. 運営方針

### 〈1〉施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回   20分	園内研修 研修報告からの学び 保育の課題の話し合い
給食運営会議	月1回	食育、離乳食、アレルギー食、喫食状況の共有、課題提案
事故防止委員会	月1回	インシデント、ヒヤリハットの分析 自園含む全園でのケーススタディと改善策
ケース会議	月1回	必要に応じて
食育会議	月1回	食に関する活動の共有、アレルギー対応
保険会議	月1回	感染症、マニュアル確認、感染予防、衛生知識

### 〈2〉法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	業務報告、伝達事項、共有事項
施設長勉強会	月1回	マニュアルの見直し、各園の課題、アクションプランの立案、振り返り
食育会議	年4回	マニュアル検討、食育活動の共有
保健会議	年4回	マニュアル検討 衛生管理、感染予防対策
子育ての質を上げる会議	年1回	保育の課題の学び、保育のスキルアップ

### 〈3〉各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	園内の汚染区域の衛生管理 備品管理
安全対策係	環境玩具の点検 環境安全整備
防火管理者	避難訓練の立案、見直し 設備の防火管理
食品衛生責任者	食品管理 食育計画の立案 調理室の衛生管理
畑係	畑の情報収集と発信 年間食育計画実行のための発信
生き物係	動植物の管理の発信 それにおける備品等管理

### 〈4〉行事別係の設置

係名	職務内容・役割
どろんこ祭り係	開催に向けて保護者とともに計画し実行する
地域交流係	地域支援、交流活動の準備、発信

## 4. 保育方針

### 〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の生活リズム、家庭環境、個性をできる限り把握したうえで園児、保護者が安心して登園できるようにする。</li> <li>・情緒の安定を図り、安心できる日常の中で「よく食べ、よく遊び、よく寝る」生活リズムができるようにする。</li> </ul>
	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外遊び、巧妙性を伴う活動、感触遊び、日常生活を通して五感を使い感覚の働きを豊かにする。</li> <li>・身の回りのことに興味をもち、自分でやってみようとする。</li> </ul>
幼児保育	上半期 2歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な「成功」も「困った」経験も重ねていきながら、自ら自分の気持ちを発信したり、友達の気持ちを感じたり助け合う関係、コミュニケーション力につながる経験を重ねる</li> <li>・連携先でスムーズに生活ができるよう年明けを目安に交流を増やし共に活動する機会を持つ</li> </ul>
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼

保護者面談 発達相談	随時	・ 随時、希望する保護者に対し実施 ・ 「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	・ 連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	6月と11月に実施予定

## 〈2〉年間行事計画

- ・ 2024年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2024年度年間スケジュール」に掲載
- ・ 保育参加・保護者面談は随時開催

## 〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	調理員、保育者、施設長は子どもと一緒に食べる
	実践予定内容	同じ時間にテーブルを囲み、食すことで五感を使い、同じメニューを食すことで味を言葉で表現しあうなど、楽しい食事の時間を過ごす。そのことで子どもたちの「食事が楽しい」経験を重ねる
2	計画・ねらい	子どもたちが自ら選び食す
	実践予定内容	0,1歳児からの手づかみ食べ、1,2歳児のバイキング活動を通して、食べたいものを食べたいだけ食べる
3	計画・ねらい	食に興味をもつ
	実践予定内容	畑仕事や食育活動、日々の昼食の食材の下処理など日々の中で食に興味関心を持つことができるよう取り組む

## 〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年1回（6月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	うがい、手洗いの習慣化 歯磨き習慣が身につく取り組み
流行が予測される感染症	通年・・・新型コロナウイルス

	感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ・・・2名より預かり済み／冷蔵庫にて保管
エピペン使用できるスタッフ	本日現在9名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員2名については4月末日までに受講予定
AED使用できるスタッフ (AED設置施設のみ)	AED設置なし
その他保健に関する取組	月1回身体測定 日々の園児の健康状態の確認(視診、触診、家庭との情報共有) 新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

### 〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月 歯科健診 年1回／6月

運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

## 〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	温かなぬくもり、親しみとくつろぎの場を創っていく。
	実践予定内容	整理整頓、行き届いた清掃状況の恒常化、心地よく過ごすことのできる環境にする。
2	計画・ねらい	パーソナルエリアを保つことのできる環境設定。
	実践予定内容	子どもが自ら関わり自発的に活動する
3	計画・ねらい	子どもの発達を理解し、子どもが興味関心を持ち、自ら入りたくなるような保育環境を用意する。発達、興味に見合った手作り玩具を含めた設定を行う。
	実践予定内容	遊びこむことのできる環境を創る



## 〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

手作り遊具・家具なし

## 5.危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	・消防計画に則った自衛消防組織を基に避難訓練（毎月1回）・防災自主点検（年2回）・日常点検の実施 ・災害発生時には、法人の災害時フローチャートに従う
2	実践予定内容	・事故防止チェック（年4回）・設備点検チェック（年6回）の実施 ・事故防止委員会会議の実施 ・怪我発生時には法人の怪我発生時フローチャートに従う
3	実践予定内容	・不審者侵入訓練（年2回）の実施 ・職員全員笛の携帯 ・自治体や近隣園との不審者情報の共有 ・不審者侵入時には法人の不審者侵入対応フローチャートに従う
4	実践予定内容	光化学スモッグの知識を身につけ、「光化学スモッグ注意報発令配信メール」に登録し、発生時には行政指示に従って対応する
5	実践予定内容	ハザードマップの随時見直し、怪我発生時の対応フローチャート設置、ヒヤリハット報告書、インシデント報告書、事故記録簿作成は正振り返り共有する



新人研修	新人社員研修	スタッフ研修
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 入社時オリエンテーション</li> <li>■ 現場OJT研修</li> <li>■ 保育品質マニュアル研修 (事務研修・ケガケーススタディ研修含む)</li> <li>■ コンピテンシー研修</li> </ul> <p>保育スキル研修</p>  <p>←お迎え 対応研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新人社員研修 → 会場研修</li> <li>→ 系列園保育実地研修</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全社員研修 (年1回)</li> <li>■ 園内研修 (月1回以上)</li> <li>■ 保育スキル研修 (エリア別)</li> <li>■ リーダー養成研修 (9~2月)</li> <li>■ 業務改善研修 (月1回) (= 保育の質を上げる会議)</li> <li>■ 施設長勉強会 (月1回)</li> <li>■ デンマークインターンシップ (年1回)</li> <li>■ コンピテンシー自己採点 (月1回)</li> <li>■ 人権チェック (4月・10月)</li> <li>■ 外部研修</li> <li>■ 上級救命救急資格取得講習</li> </ul> <p>←避難訓練研修</p>

## 6. 実習生・中高生の受入

### 〈1〉今年度方針・テーマ

地域におけるボランティアの養成、次の世代を担う保育等の現場で活躍する人材育成のため、積極的に受け入れる。子どもたち、保育者にとっての人とのふれあい、共に学びあう場として次世代交流として行う。

1	実践予定内容	中学生の体験学習の受け入れ
2	実践予定内容	保育の実習生、中学生以上のボランティアの受け入れ

## 7. スタッフ育成と研修計画

子どもたちを真ん中に、計画、実行、振り返りを行う。日々の昼礼では申し送りではなく主活動を中心にねらいに対しての子どもの姿を語り、その時の保育者一人ひとりの「必要に応じた丁寧な保育」の実践内容について語り合う。共有だけではなく「交わる」ことのできる職員集団となる。

研修ではスタッフの経験やスキルに応じた個々の育成に努めると共に、園全体の質を高めていく。

### 〈1〉2024年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月12日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 虐待防止研修 ③ ケガ、ケーススタディ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの人権、関わりについて考える</li> <li>・ハザードマップを作りながら怪我や事故のリスクを予測する</li> </ul>



育ての質を上げる 会議)													
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士 大学講座および社 内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用												
全社員研修	9月1日～30日までの間に録画視聴（全スタッフ対象）												
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定												
デンマークインターンシップ	希望するスタッフが応募												

#### 〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

## 8. 地域交流計画

### 〈1〉今年度方針・テーマ

軽に立ち寄ることのできるルームになる。通りすがりでも、継続してくることも、飛び込みで立ち寄ることもできる「開かれた園」になるように努めていく。

今年度は「交わる」共に育つことを目標に、遊び、発達、保育を届けていきながら、地域の方と交わりつながっていく。

### 〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：外環上部C広場にて
商店街ツアー	週1回
世代間交流	施設訪問、地域施設との交流
異年齢交流	和光どろんこ保育園、他地域保育園との交流 中高生の職業体験の受け入れ
地域拠点活動	自然食堂 芸術学校 寺親屋 公園清掃 園開放

## 9. 小学校との連携の計画

該当なし

## 10. 要支援児計画

### 〈1〉 個別支援計画の作成・見直し

状況に応じて行う。関係機関、本部と連携を取りながら支援をしていく。

### 〈2〉 毎月のケース会議開催

(4～3月に計12回開催予定 参加者：2～4名予定)

必要に応じて行う。年齢担当職員を中心に、施設長、看護師で話し合い、職員全体へ共有していく。

### 〈3〉 進級引継、および、小学校への引継

連携園（和光どろんこ保育園）の幼児クラスへの引継ぎや転園児がいる場合は和光市が行っている転園引継ぎ式に出席し、保育の連続性・継続性を重視した引継ぎの体制を整える。

## 11. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30
自然食堂…親子ランチ交流	第2.4週(火) 10:00～12:00
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	第3週(火) 10:00～12:00
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育(支援センター主催)	月1回 公園名：外環上部C広場にて開催

## 12. 園運営の向上

### 〈1〉 福祉サービス第三者評価の受審

3年に1回実施

## 〈2〉園による自己評価の実施

2024年3月1日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：9時30分

自己評価終了予定時刻：12時00分

自己評価実施予定者：施設長、職員

## 〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

# 1.3.3カ年計画の具体化

## 〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	保護者の立場に立った保護者対応 子どもに寄り添う 地域の子育ての場としてのはじまり
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3分間のお迎え対応だけでなく、アプリ等のツールを使って、保護者の方と共に悩み、考えることで様々な角度からの子どもの育ちを見届ける、見守ることに努めた。</li> <li>・子どもの育ちを見届けるために、一人一人の思いを探り、受け入れるのではなく受け止めながら大人の考えで指示を出すのではなく、子どもが経験を重ねることを見守りつづけることに努めた。</li> <li>・どろんこ祭りの開催を行う。はじめての園での開催となり、地域の方の栈かも目標数以上となり、和光ルームを知っていただくきっかけになった。</li> </ul>

## 〈2〉当年度以降の3カ年計画

2024年度	目指す姿	・小規模認可保育園ならではの丁寧で温かみのある関わりを重ねながら「いつでも」「気軽に」行き来できる園となる
	重点施策	・地域への発信をさらに行い「開かれた保育園」となるように、地域を巻き込んだ行事や、気軽に参加できる場の発信をする。その中で「地域とのつながり」を深めながら求められているニーズを探り探求する。
2025年度	目指す姿	・地域の子育ての場となるために「交わる」
	重点施策	・地域の方とともに「子育ての場」となるよう、世代を超えてつながり、地域で子育てを支えあう関係性の土台を作る。
2026年度	目指す姿	・地域の子育ての場になる
	重点施策	・子育ての場として子育て世代、異世代すべての地域の方と共に、「遊

		びの会」「学びの会」など地域のニーズに合わせた展開ができるように、人とのつながりをさらに深めていく
--	--	---

以上

作成日：2024年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ 和光ルーム 施設長 高安 百合子